

ワクチン情報文書

Td (破傷風、ジフテリア) ワクチン: 知っておくべきこと

Many Vaccine Information Statements are available in Japanese and other languages. See www.immunize.org/vis

多くのワクチン情報の説明が、日本語やその他の言語で利用することができます。
www.immunize.org/vis をご覧ください。

1. ワクチン接種を受ける理由は?

Tdワクチンは、破傷風およびジフテリアを予防できます。

破傷風は、切り傷や傷口から体内に侵入します。ジフテリアは人から人へとうつります。

- ・破傷風 (TETANUS, T) は痛みを伴う筋肉のこわばりを引き起こします。破傷風により、口が開きにくくなったり、ものを飲み込みにくくなったり、呼吸が困難になったりなど深刻な健康問題を引き起こす可能性があるほか、死に至る可能性があります。
- ・ジフテリア (DIPHTHERIA, D) は、呼吸困難、心不全、麻痺、または死につながる可能性があります。

2. Td ワクチン

Tdワクチンは7歳以上の小児、青年、成人にのみ接種されます。

Tdワクチンは通常、**10年ごとに追加接種**として、または重度あるいは汚染された創傷または熱傷を受傷した場合は5年後に追加接種として投与されます。

Tdワクチンの代わりに、Tdapと呼ばれる別のワクチンを接種することもできます。Tdapワクチンは、破傷風やジフテリアに加えて、百日咳を予防するワクチンです。

Tdワクチンは他のワクチンと同時に接種してもかまいません。

3. 担当の医療従事者にご相談ください

以下のような方がワクチンを受ける場合には、担当するワクチン接種を行う医療従事者にご相談ください。

- ・前回の破傷風またはジフテリアに対するワクチンの接種後にアレルギー反応が出たことがある、または重篤な命を脅かすほどのアレルギーがある
- ・ギランバレー症候群 (Guillain-Barré Syndrome, GBS) とも呼ばれる) にかかったことがある
- ・前回の破傷風またはジフテリアに対するワクチンの接種後に重度の痛みまたは腫れがあった

場合によっては、担当の医療従事者がTdワクチンの接種を次回の来院まで延期するように判断する場合があります。

風邪などの軽い病気にかかっている場合でも、ワクチン接種を受けることができます。病気が中程度または重度の場合は、回復してからTdワクチンを接種するほうがよいでしょう。

詳しい情報については、担当の医療従事者にお尋ねください。



U.S. Department of
Health and Human Services
Centers for Disease
Control and Prevention

4. ワクチン反応のリスク

- ・Tdワクチン接種後には、注射した部位の痛みや赤み、腫れ、軽度の発熱、頭痛、疲労感、吐き気、嘔吐、下痢、胃痛などの反応がみられることがあります。

ワクチン接種を含め、医学的な処置により失神する方もいます。目まいや視力の変化、耳鳴りなどを感じたら、担当医療従事者にお伝えください。

どんな医薬品でもそうであるように、ワクチン接種により重度のアレルギー反応や、その他の重篤な傷害や死亡が起こる可能性はごくわずかにあります。

5. 重度の問題が起きたら？

アレルギー反応は、ワクチン接種を受けたクリニックからの帰宅時に生じることがあります。重度のアレルギー反応の症状(蕁麻疹、顔やのどの腫れ、息苦しさ、速い鼓動、目まい、倦怠感)があった場合は、**9-1-1**に電話し、最寄りの病院を受診してください。

気にかかる他の症状がある場合は、担当の医療従事者にお電話ください。

有害反応は、Vaccine Adverse Event Reporting System(ワクチン有害事象報告システム:VAERS)に報告する必要があります。通常、担当の医療従事者がこの報告書を提出しますが、あなたもご自身で提出することができます。VAERSのウェブサイトアクセスいただくか www.vaers.hhs.gov、**1-800-822-7967**までお電話ください。VAERSは反応の報告のみを目的としているため、VAERSのスタッフは医学的な助言は行いません。

正確な予防接種状況、予防接種についての評価、今後の予防接種の推奨スケジュールを医療提供者に提供するため、情報はMichigan Care Improvement Registry(ミシガン幼児予防接種記録所)に送られます。予防接種情報が同記録所に送られないよう医療提供者に要請できる権利が誰にでもあります。

6. 全米予防接種傷害補償プログラム

National Vaccine Injury Compensation Program(全米予防接種傷害補償プログラム:VICP)は連邦プログラムであり、特定のワクチン接種により傷害を受けた可能性のある方々に補償するため設立されました。ワクチン接種による傷害または死亡の疑いに関する補償請求には提出期限があり、2年という短期間の場合があります。VICPのウェブサイト www.hrsa.gov/vaccinecompensation をご覧になるか、**1-800-338-2382**までお電話いただき、プログラムの詳細および補償請求の方法についてご相談ください。

7. 詳しい情報を知るには？

- ・担当の医療従事者にお尋ねください。
- ・お住まいの地域または州の保健局にお電話ください。
- ・ワクチンの添付文書および追加情報については、Food and Drug Administration(米国食品医薬品局:FDA)のウェブサイト www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines をご覧ください。
- ・Centers for Disease Control and Prevention(疾病管理予防センター:CDC)にお問い合わせください。
 - 電話 **1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO)** または
 - CDCのウェブサイト www.cdc.gov/vaccines をご覧ください。

